

図書館だより



図書館だより 第3号

- 子育てフェスタについて
- 平成11年度の利用状況について
- 第7回手づくり紙芝居コンクールのお知らせ
- 紀南分館の障害者サービス
- 長期社会体験研修を振り返って
- 図書館カレンダー

図書館だより

第3号（平成12年4月11日）

発行 和歌山県立図書館

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号 Tel 073-436-9500

<http://www.wakayama-lib.go.jp/> Fax073-436-9501



すこやか・あんしん

子育てフェスタに出展

去る3月26日（日）和歌山ビッグホールにおきまして「すこやか・あんしん 子育てフェスタ」が開催されました。会場では様々なイベントやフリーマーケット・子育て関係団体の展示などが行われ、県立図書館も展示コーナーの一つに「子どもと絵本とおはなし会」と題した出展を行いました。



県立図書館・県内の図書館の紹介や絵本の展示のほか、おはなしボランティアグループ「さいちご」のみなさんによるおはなし会を行いました。

天気もよく、春休み中の日曜日ということもあって会場は約7,500人の親子連れでにぎわっており、多くの方に絵本の魅力に触れていただくことができました。

なお、御協力いただいた「さいちご」のみなさんは、県立図書館児童室で毎月第2土曜日におはなし会を行っています。

また、毎月第4土曜日には、よみきかせグループ「もこもこ」のみなさんによるおはなし会も行っています。

これからの予定

☆日 時 毎月第2・第4土曜日
午後2時～2時30分

☆場 所 児童室「おはなしコーナー」

さいちご	もこもこ
4月8日	4月22日
5月13日	5月27日
	6月24日

〈シンボルマーク〉



2000年は、子ども読書年

〈標語〉

「読む人も 読まれる本も うれしいね」

2000年5月5日に東京・上野に「国際子ども図書館」が開館します。これを記念して、2000年を「子ども読書年」とし、国を挙げて子どもたちの読書活動を支援することが国会で決議されました。

紀南分館の障害者サービス

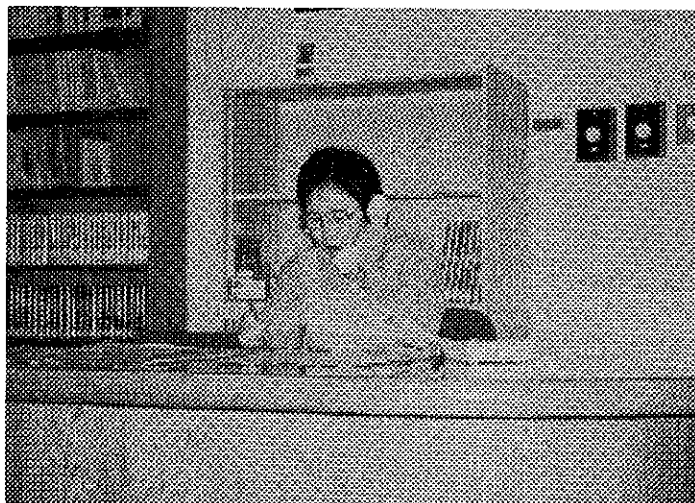
紀南分館では、目の不自由な方の学習を支援するために、ボランティアの協力を得て、次の事業を行っています。

1 対面朗読サービス

図書館で、利用者と朗読ボランティアが対面して読みますので、聴く人は意味を確認しながら読み進めることができます。

2 電話による地方新聞の朗読サービス

週に一日だけですが、図書館に電話をかけていただきますと、地方新聞を主とした資料をボランティアが電話口で朗読します。電話を利用しますので外出の必要がありません。



3 録音図書制作サービス

このサービスは、次の二つのサービスに分けられます。

(1) 録音図書制作サービス

図書館の蔵書にできるように、何度も校正を重ねた本格的な録音図書を制作します。

(2) プライベートサービス

利用者の希望する資料の希望する部分を、対面朗読の代わりとして録音しますが、お届けできる日を早くするために一部校正を割愛してあります。

(*これらのサービスは、著作権法の許す範囲内で行っています。)

紀南分館では、現在 17 名の音訳ボランティアが活動していますが、以上のサービスをより充実させるために、ボランティアに興味のある方の参加をお待ちしています。

これらのサービスをご希望の方は、連絡・お問い合わせください。

和歌山県生涯学習ボランティアセンター
〒641-0051 和歌山市西高松 1-7-38
電話 073-436-9532

和歌山県立図書館紀南分館
〒646-0037 田辺市磯間 29-2
電話 0739-22-2061
FAX 0739-22-4773

平成 11 年度の利用状況について

平成 11 年度 (1999 年 4 月～2000 年 3 月) も多くの方々に御利用いただきありがとうございます。

入館者数			利用券 登録者数	貸出人数	貸出冊数	
閲覧室	児童室	文化情報センター			一般書	児童書
220,336 人 (807 人)	98,114 人 (359 人)	64,439 人 (236 人)	6,327 人 (23 人)	92,280 人 (338 人)	153,082 冊 (561 冊)	142,429 冊 (522 冊)

() は 1 日平均

長期社会体験研修を振り返って

長期社会体験研修員 教諭 上野隆子

私はこの一年間の社会体験研修で、ものの見方・考え方に刺激を与え、自己の感覚を磨いて思考活動の転換を図りたいと考えていた。各課の概要研修を終えた後、サービス課、サービス課 企画・協力及び文化情報センターの業務を研修した。

図書館は地域住民に対して、様々な情報を提供する社会教育施設であり、資料・設備・司書の三要素で構成されている。カウンター業務は資料に対するノウハウを蓄積し、利用者個々のニーズに対応したサービスが必要である。そのサービスは笑顔と挨拶で対応し、利用者が何を必要としているのかの洞察力を働かせることが大切で、どんな横柄な態度に接しても、こちらの心の持ち方が肝要である。

文化情報センターでは毎年、4回のパソコン講座を実施している。競争率は5～6倍、ここでも時代の変化に迫られている年輩の方の姿が印象的で、情報革命の速さは、私たちの生活に影響を与え、パソコンは生活に不可欠な道具となってきた。そして教育現場では総合学習とインターネットの導入に伴い、指導方法、評価、教師の役割なども変わることが予想される。教師が生徒に遅れないためにも、情報を活用する能力を身につけておく必要がある。

平成11年度は学級崩壊、不登校の激増が新聞やテレビでクローズアップされ、教師の指導力が問われた。時代のすう勢に従い、教師として必要な能力は、さらに高度化・多様化し、幅広い人間性が求められると言われている。図書館での貴重な体験は、私の新生面を切り開き、ライフスタイルに与えた影響は大きい。

第7回手づくり紙芝居コンクールのお知らせ

毎年恒例の手づくり紙芝居コンクールの日程が決まりました。

応募締切日 平成12年9月20日(水)
(郵送の場合は、9月20日消印有効)

最終審査会 平成12年11月3日(金)
会場 県立図書館 2階
メディア・アート・ホール

今年もたくさんのお応募お待ちしております。

図書館カレンダー (平成12年4月～6月)

4月						5月						6月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						①	①	②	③	④	5	6						①	2	3
2	③	4	5	6	7	8	7	⑧	9	10	11	12	13	4	⑤	6	7	8	⑨	⑩
9	⑩	11	12	13	14	15	14	⑬	16	17	18	19	20	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
16	⑱	18	19	20	21	22	21	⑳	23	24	25	26	27	⑱	⑲	⑳	21	22	23	24
23	㉑	25	26	27	28	㉒	28	㉓	30	31				25	㉔	27	28	29	30	31
30																				

○は休館日

開館時間： 火～金 閲覧室 10:00～19:00 児童室 10:00～17:00
土・日・5/5 閲覧室・児童室 10:00～17:00
※6/9～6/20 資料点検期間のため休館させていただきます。